

「農業に欠かせない水」

水は、地球上のあらゆる生命にとってとても大切な源であり、なくてはならないものです。もしも、水がこの世の中から消えたら、地球上のあらゆる生命は、たぶん、いや、完全に滅んでしまうでしょう。

この限りある貴重な水資源を未来に引き継ぐために、僕は、そしてみなさんは何をしなければいけないのか良く考えていかなければいけません。

そこで僕は、家の近くにある『ダム』について考えてみることにしました。しかし、何ぞダムが出来たのかや、ダムに貯めた水はどのようにして使われているのかは、まったく知りませんでした。なので昔のことを良く知って、僕のおばあちゃんに聞いてみることにしました。すると、「それって本当？」と聞き返すくらい、驚くことを聞いたのです。

山添村立山添中学校 二年

井ノ本 成海

それは、
「昔、あそこは田んぼやってん。」
僕はその言葉を聞いて思わず、えーつと言ってしまった。僕はてっきり山を崩して造ったのかと思っていました。

するとふと僕の中で疑問に思うことが浮かんできました。それは、その田んぼの中に、自分の田んぼはあったのかということ。聞いてみました。あつたそうです。そこでまた疑問に思うことが浮かんできました。それは、ダムを造るといふ計画に賛成したのかどうかです。

聞いてみました。賛成していたそうです。
「反対していた人はいた？」
と聞くと、
「多少いたけど、ほとんどの人は賛成していたよ」

と言ってくれました。

ここでまた、疑問に思うことが浮かんできました。それは、何ぞ反対していた人より、賛成していた人の方が多かったのか、ということですか。

聞いてみました。すると、「あつ、だから賛成していた人の方が多かったのか」というふうに、納得の出来る説明をしてくれました。

その説明はこうでした。
「昔、あそこは田んぼやってん。せやけど、水が足りやんくて川から水を引っぱってこようと思っただけど、田んぼの地形が棚田になつてて、川は田んぼの下にあつたから、引っぱってこようと思つても無理やつてん。それとな、大型の機械が入りにくかつたつていうのも理由の一つやつたわ。まあ言ったら米が作りにくかつたつてことやな。」

僕はこの説明をしてもらった後、最後の疑問が浮かんできました。それは、ダムを造つたとして、その貯めた水をどうしているのか、ということですか。

このことについてもくわしく説明してくれました。それは、

「ダムで貯めた水は、農業用水として使われてんねん。例えば、この地域はお茶がいつぱい作られてるやろ。せやけどお茶は山の斜面で作られてるところが多くて、そこまで水を持っていくのもしんどいから、パイプを通していつでも水が手に入るようにしてあんねん。」

という説明でした。
これらの話は一度も聞いたことがなかったもので、とても良い勉強になりました。そして何よりもダムはただ水を貯めておく場所ではなく、生命が生きていく上で必要な水を貯めているということを頭の中に入れておきたいと思えます。